

2019年度 給与・勤務条件改善要求のための調査

2018年10月
日本高等学校教職員組合

この調査は、組合員の生活実態及び給与・勤務条件等における改善要求を明らかにし、改善に向けた取り組みや資料を作成するために実施するものです。

現在、中央教育審議会で「学校における働き方改革特別部会」が設置され、学校の組織運営体制の在り方及び勤務の在り方について検討されており、それに関連して、教職員の働き方に関する制度確立及び改善に資する目的で実施いたしますので、是非ともご回答ください。

質問について、別紙(マークシート)に回答し、ご提出ください。なお、マークシートは、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシル可)を使用してマークしてください。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

※複数回答又は2つまで回答可など具体的な記載があるもの以外は、1つのみ回答してください。

Q1～Q6までは、個人特性・待遇・勤務条件に関する質問です。

Q1. あなたの年齢(2018年4月1日現在)をお答えください。

- ① 29歳以下 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50～59歳 ⑤ 60歳以上

Q2. あなたに当てはまる事項をすべて選んでください(複数回答可)。

- ① 男 ② 女 ③ 扶養家族(手当受給)あり ④ 要介護者あり ⑤ 単身赴任(手当受給)中
⑥ 学級担任 ⑦ 学年主任 ⑧ 部活動主顧問 ⑨ 各種部長(生徒指導部長など)

Q3. あなたの任用形態は何ですか。番号をマークしてください。

- ① 普通教科教諭 ② 専門教科教諭 ③ 特別支援学校教諭 ④ 養護教諭 ⑤ 栄養教職員
⑥ 実習教員 ⑦ 寄宿舎教員 ⑧ 行政職(事務、学校司書等)・現業職・海事職
⑨ 臨時講師(常勤講師)・臨時職員 ⑩ 非常勤講師(時間講師) ⑪ その他(任用形態等をご記入ください)

Q4. あなたの家計において、特に負担と感じているものは何ですか(2つまで回答可)。

- ① 食費・衣料費などの生活費 ② 電気・ガス・水道などの公共料金 ③ 子どもの教育費
④ 家賃・ローン返済などの住宅関連費 ⑤ 教養・研究費 ⑥ 定年後のための貯蓄 ⑦ 交際費
⑧ 通信費(電話代等) ⑨ 医療・介護費 ⑩ 税金 ⑪ 共済掛金 ⑫ 生・損保掛金
⑬ 交通費(通勤費) ⑭ その他(具体的に記入してください)

Q5. 教職員給与等について、今後、特に改善を求めたい手当等は何ですか(2つまで回答可)。また、新設を望む手当があれば記入してください。

- ① 扶養手当 ② 住居手当 ③ 通勤手当 ④ 単身赴任手当(適用拡大含む)
⑤ 教員特別手当(義務教育等教員特別手当) ⑥ 部活動指導手当
⑦ 教職調整額(行政職は超過勤務手当) ⑧ 給料の調整額(調整数) ⑨ 宿日直手当
⑩ 教育業務連絡指導手当(いわゆる主任手当) ⑪ 特地(へき地)勤務手当 ⑫ 定時制通信教育手当
⑬ 産業教育手当 ⑭ その他(具体的に記入してください)

Q6. あなたが、今後、拡充や条件整備、新設を望む休暇(休業)制度は何ですか(2つまで回答可)。

- ① リフレッシュ休暇 ② リカレント休暇(自己の再教育のための休暇) ③ ボランティア休暇
④ 夏季特別休暇 ⑤ 年次休暇 ⑥ 傷病休暇 ⑦ 産前・産後休暇
⑧ 介護休暇 ⑨ 育児部分休業 ⑩ 育児時間休暇 ⑪ 子の看護休暇
⑫ 家族の看護休暇 ⑬ 教育休暇(子どもの教育に係る休暇) ⑭ 不妊治療に要する休暇
⑮ その他(具体的に記入してください)

Q7、Q8は、高齢期雇用施策導入に伴う今後の働き方に関する質問です。

Q7. 定年(60歳)後の働き方・生き方で、あなたの望むものに最も近いものを選んでください。

- ① 定年退職後は働かない ② フルタイム再任用で、教諭・事務等の業務を今のまま継続して勤務
③ フルタイム再任用で、業務を軽減して勤務 ④ 短時間再任用勤務 ⑤ 臨時講師(常勤講師)・臨時職員
⑥ 非常勤講師(時間講師) ⑦ 私学又は他の職業を選択する ⑧ その他(具体的に記入してください)

(1) ①(定年退職後は働かない)と回答した方にお聞きします。その理由についてご自身の考えに最も近いものを選んでください。

- (a) 預貯金等で対応が可能である (b) 精神的・体力的に厳しい (c) 家族の介護
(d) その他(具体的に記入してください)

(2) ②～⑧と回答した方にお聞きします。定年後の働き方等で重視する項目は何ですか(2つまで回答可)。

- (イ) 賃金水準 (ロ) 勤務地 (ハ) 勤務時間 (ニ) 担当業務 (ホ) その他(具体的に記入してください)

Q8. 段階的定年延長について、ご意見があればお書きください。

裏面あり

Q9～Q12は、学校の「働き方改革」に関する質問です。

Q9. あなたの考える望ましい退勤時刻(時間外勤務含む)は、いつだと考えますか。

- ① 定時退勤 ② 午後6時まで ③ 午後7時まで ④ 午後8時まで ⑤ 午後9時まで
⑥ 午後10時まで ⑦ やるべきことがあれば特段こだわらない ⑧ その他(具体的に記入してください)

Q10. 「働き方改革」で、あなたが最も重視するものはどれですか。

- ① 学習指導など児童生徒と関わりの充実 ② 時間外勤務の縮減 ③ 給与総額の増加
④ その他(具体的に記入してください)

Q11. あなたは、学校の「働き方改革」を実行する場合に必要なことは何だと考えますか(2つまで回答可)。

- ① 業務分担の明確化 ② 教員定数の改善 ③ スクール・サポート・スタッフ(事務補助員)の配置・増員
④ 教職員の意識改革 ⑤ 関係者(生徒・保護者・地域など)の意識改革 ⑥ 教職員の給与・処遇改善
⑦ その他(具体的に記入して下さい)

Q12. 学校の「働き方改革」について意見・要望などがありましたら具体的に記入してください。

Q13～Q19は、教育職の方のみ回答してください。

Q13. あなたは、普段(平均的なもの)始業時刻のいつ頃までに出勤(学校到着時刻)しますか。

- ① 概ね定時 ② 15分前 ③ 30分前 ④ 45分前 ⑤ 1時間前 ⑥ 1時間15分前 ⑦ 1時間30分前 ⑧ 2時間以上前

(1) ②～⑧と回答した方にお聞きします。その主な理由は何ですか(2つまで回答可)。

- (a) 進路指導 (b) 生徒指導 (c) 学習指導(補習を含む) (d) 部活動指導 (e) 教材研究
(f) 事務処理(成績処理等) (g) 交通事情 (h) その他(具体的に記入してください)

Q14. あなたは、平日勤務で平均して週何時間程度の超過勤務(勤務開始前・勤務終了後合わせて)をしていますか。

- ① ほとんどしない ② 5時間未満 ③ 10時間未満 ④ 15時間未満 ⑤ 20時間未満 ⑥ 20時間以上

(1) ②～⑥と回答した方にお聞きします。その主な理由は何ですか(2つまで回答可)。

- (a) 進路指導 (b) 生徒指導 (c) 学習指導(補習を含む) (d) 部活動指導 (e) 教材研究
(f) 事務処理(成績処理等) (g) その他(具体的に記入してください)

Q15. あなたは、週休日(土・日曜日)及び祝日(月平均日数約10日)に平均して月何日くらい出勤していますか。

- ① 出勤しない ② 1～2回 ③ 3～4回 ④ 5～6回 ⑤ 7～8回 ⑥ 9～10回

(1) ②～⑥と回答した方にお聞きします。あなたが、週休日(土・日曜日)及び祝日に出勤せざるを得ない主な理由は何ですか(2つまで回答可)。

- (a) 進路指導 (b) 生徒指導 (c) 学習指導(補習を含む) (d) 部活動指導 (e) 教材研究
(f) 事務処理(成績処理等) (g) 模試・検定等の監督 (h) その他(具体的に記入してください)

Q16. あなたが、自宅に持ち帰って行わざるを得ない仕事は、平均して週何時間程度ですか。

- ① ほとんどしない ② 2時間未満 ③ 4時間未満 ④ 6時間未満 ⑤ 6時間以上

Q17. 現在、時間外勤務手当(超過勤務手当)などの代わりに支給されている教職調整額(現行一律4%程度)について、あなたはどのように考えますか。

- ① 現行のままでよい
② 教職調整額制度を維持し、勤務実態に応じて一律に率の引き上げを求めるべき
③ 教職調整額の代わりに、変形労働時間制を含む時間外勤務手当を導入してメリハリを付けるべき
④ その他(具体的に記入してください)

Q18. 教職員の定数改善として、あなたの考える望ましい施策は次のどれですか(3つまで回答可)。

- ① 教育職(除く管理職・主幹教諭)の人員増 ② 主幹教諭の配置・増員 ③ 教頭(副校長)の増員
④ 事務職の人員増 ⑤ スクールサポートスタッフ(事務補助員)の配置・増員 ⑥ 部活動指導員の配置・増員
⑦ スクールカウンセラーの配置・増員 ⑧ スクールソーシャルワーカーの配置・増員
⑨ その他(具体的に記入してください)

Q19. 中央教育審議会では、公立学校で勤務する教職員の勤務時間について、変形労働時間制の導入を検討しています。例えば、繁忙期(1学期)は1日10時間勤務する代わりに、閑散期(夏休み等)を1日6時間勤務とすることなどが考えられます(個々で希望の時間は選択できないとする)。

あなたは、変形労働時間制の導入についてどう考えますか。

- ① 賛成 ② どちらでもない ③ 反対 ④ その他(具体的に記入してください)

(1) ③(反対)と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか(2つまで回答可)。

- (a) 育児・子育てのため (b) 介護のため (c) 自分の趣味・自己啓発等の時間確保
(d) 長時間労働に繋がる恐れがある (e) 閑散期が存在しない (f) その他(具体的に記入してください)

ご協力ありがとうございました。

アンケートを通して得られたご意見に基づき、
文科省や総務省、都道府県教育委員会、人事委員会等に要望してまいります。